

# 「世界の茶の文化セミナー」 第1回 アンケート集計結果

外部参加者合計:100名 アンケート回答者:87名(回答率:87%)+スタッフ15名(府大:7名、堺なんや衆:8名)  
市民活動団体“堺なんや衆”

## I. 「世界の茶の文化セミナー」の開催について (平成20年6月14日、於・大阪府立大学)

### 1. どのような方法でこのセミナーの開催を知りましたか？

①ポスター	②チラシ	③広報さかい	④新聞	⑤インターネット	⑥知人・友人
8	21	23	7	7	21
⑦その他					②+③+⑥=65名(75%)
・他の講演会で紹介された。 ・「泉北コミュニティー」に掲載 ・松原市内の図書館でチラシをもらった。					

### 2. 参加されての印象はいかがでしたか？

①とてもよかった	②よかった	③分からない
48	35	4

### 3. このセミナーについてのご感想、ご意見やご提案をお願いします。

- ・勉強になった、楽しかった。「お茶はもてなしの心」、「ふれあい」という言葉に感銘を受けた。
- ・お茶を飲みながら留学生のお国事情が聴けたのは楽しかった。見識が広まった。
- ・「茶の湯」の話が聞きたかった。
- ・数年前から取り組んでいたとのことだったが、もっと早く知っていたらと残念に思う。
- ・後部座席では、人の出入り、スタッフの動きなど気になり落ち着かなかった。マイクの入りが悪く聴きとりにくかった。

## II. “茶”の文化について [CHA:ふれあいCommunication、もてなしHospitality、人間関係の形成Associateの略称(角山 榮提唱)]

### 1. 日本に“茶の湯”の文化を知っていましたか？

①知っている	②知らなかった
82	5

### 2. 「茶の湯」は堺で千利休によって大成されたことを知っていましたか？

①知っている	②知らなかった
81	6

### 3. ふれあい(C)ともてなし(H)で人間関係の形成(A)を図る心を「CHAの心」と称することについて

①知っている	②知らなかった
16	71

### 4. 「CHAの心」の文化についてご感想をお聞かせください。

- ・本来的な日本文化の規範を理解しやすく表現したもので、今の時代に求められている大切な心である。
- ・堺の文化として誇りに思う。良いネーミングであり、この精神を人に伝えてゆきたい。
- ・「茶の湯」に比べたら軽い感じがする、本質がわかりにくい。

## III. お茶のもてなし「一期一会」席について

### 1. 「一期一会」席の開設目的はご理解いただけましたか？

①意義深いお茶席	②よかった	③分からない
31	48	8

### 2. 「一期一会」席についてご感想、ご意見、ご提案などをお願いします。

- ・講演後、ほっと一息つく時に、チャイでのおもてなしは、セミナーの意義を考えるのにふさわしいと思う。
- ・留学生の茶文化の話は、世界の若者文化の共通性を語るものであり興味があった。この催しが相互の文化を認識する機会となればよい。
- ・改めて「一期一会」という言葉の意義を感じた。今日は、「CHAの心」と合わせて、これらの言葉をお土産にしたい。
- ・チャイについての資料を準備されたことに“おもてなし”の心を感じる。
- ・「朝8時から・・・」としつらえの苦労話はここでは不要。それは客(受け手)が感じて評価すること。

## IV. 次回以降の「セミナー」や「一期一会」席について

①参加する	②4回参加する	③都合がつけば参加	④参加しない
29	24	32	2

## V. 参加者居住地 (受付名簿より集計)

参加者居住地	堺	大阪	京都、松原、富田林、河内長野、忠岡町、不明者	和泉
参加者数	58人	15人	3人 [×(5市・町+不明者)=18人]	2人
参加者居住地	藤沢(神奈川県)、神戸、西宮、高槻、茨城、吹田、阪南			参加者合計
参加者数	各1人 (×7市=7人)			100人